



33名が参加

桜咲き、笑顔も満開、学生会



第547号
 発行所
 天理教北海道教務支庁
 札幌市中央区南8条西11丁目
 電話011(561)-1148
 F A X 011(561)-1190
 E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
 印刷
 三浦印刷株式会社

【立教百八十一年 基礎講座北海道会場日程】 開催時刻はいずれも13時30分から

5月16日(水) 教務支庁会場
 7月7日(土) 教務支庁会場
 9月16日(日) 網走支部会場

10月7日(日) 天龍支部会場
 11月11日(日) 教務支庁会場

…追加会場については随時掲載していきます…

今年の模擬店は
 「芋たあじゆ」

委員長談話

今回の春の学生おぢばがえりは、「つながり、広げて、OH結び」をテーマに、3月25日、30日まで、おぢばに帰らせて頂きました。

まだ寒い北海道を発って、26日には、暖かい日差しを受けて、参加者全員で、本部月次祭を参拝させて頂き、その後、期間中宿舍としてお世話になる芦津大教会の学生会と交流会を持ち、一日目ですぐにみんなと打ち解けることが出来ました。これは団体としての結束を高め、とてもその後に良い効果を出しました。

27日には、本部前の広場で、式典前夜祭があり、みんなで協力してジャガイモのポタージュスープを作り「芋たあじゆ」の看板を作り、呼び込みもしながら、各学生会の出店にも回り、熱意も手伝って完売をし、感動的

なエンディングを迎えました。そこで、明日の式典への気持ち一つにすることが出来ました。

28日はいよいよ本部中庭での式典です。真柱様の目の前で、お言葉を聞かせて頂く事が出来て、感動のために涙を流している学生もいました。式典後には各直属での直属アワーがあり、普段は交流する機会のない直属の学生会との懇親の集いがあった、とても内容の濃い一日を過ごすことが出来ました。

29日には、天理の街を自由行動したのちに、はばたけパティで大盛り上がりでした。各班ごとに歌を歌ったり、物まねなどの芸が出されて、笑顔が絶えませんでした。続く引継ぎ式では、一年間委員長をつとめた吉田徳香委員長から、新たに小川莉穂委員長に無事引継ぎが出来るしました。

今回は学生が33名で、声を掛け合って沢山の仲間で、春の学生おぢばがえりに参加することが出来て、とても嬉しく思いま

新委員長紹介

女子青年

境 真理さん

(小樽支部・花園分教会)



学生会

小川 莉穂さん

(札幌中南支部・興部分教会)



大雪被害の新ひだか町のボランティア活動に 災救隊出動



2月5日からの大雪による農業施設への多大な被害を受けた新ひだか町では「大雪農業被害対策本部」を設置。町の社会福祉協議会とともにボランティアの手による支援活動を大々的に呼びかけた。この呼びかけに呼応し、日高支部の災救隊（中津川隊長）では、3月17日、19日、24日にわたりボランティア活動に出動。教区からの参加者とともにひのきしんの汗を流した。

町内全体では、96戸の農家が被災。主にミニトマトの栽培が

行っているビニールハウス400棟が倒壊。畜舎の全半壊が21棟という被災状況の中、ビニールハウスの解体、資材回収などの作業にあたった。

作業初日の17日、朝8時に新ひだか町公民館に集合し、受付、オリエンテーションののち、町長の挨拶があり、その後作業現場である東部地区の3戸の農家へ移動し、9時15分より作業開始。このうち倒壊した30棟のビニールハウスの解体作業にあたった。炊き出しのラーメンによる昼食時には、ようぼくである副町長が激励に訪れた。また同じくようぼくの町議員は一緒に汗を流した。期間を通してのべ18名の隊員が作業にあたった。



補導委託と献血に力を —— 福祉担当者会議 ——

福祉厚生部の活動は、天理教と社会の接点に当たるだけに多岐で多彩である。それを担う各支部の担当者を集めて、今年度の前期会議が4月2日開催された。

まず伊藤逸雄部長が「天理教の歴史そのものが社会福祉である」といっていい」と説明。「天理教が明治41年に一派として独立を認められるに当たり、明治政府から何か社会貢献を促され、孤児等の施設として天理養徳院を創設したのがその始まりです。そして次にその子供たちが学校教育を受けるために天理小学校が作られ、さらに中学校、高校とその流れが進みました」と本教の福祉活動の根幹と歴史について説明した。

会議終了後の午後2時から、担当者以外の希望者も参加し、札幌家庭裁判所施設課から「補導委託制度」の理解と協力要請について話があった。「補導委託」とは、犯罪を犯した少年を処分が決定するまで民間のボランティアに預け、生活環境を変えて、規則正しい生活習慣を身につけさせることなどに

よって、少年の再非行を防ぐというものであり、大阪の天理教会では積極的に「おたすけ」として取り組んでいるとのこと、北海道でも・・・と持ったこられた。現代の難渋たすけの一つの形であろう。詳細についてのお尋ねは教区福祉部へ。

その後「献血活動推進研修会」があり、2015年には約5万人分の血液が不足し、約10年後の27年には約85万人分血液不足が起きるとシミュレートされているという。それは日本の少子高齢化に加えて、特に顕著なのが、若者の献血離れで、10代が6・3%、20代が7・2%、30代が6・7%に留まっていると。そこで天理教のような組織的な取り組みが望まれていることだった。



【学生会】 高校生の集い 『まなびば』開催!!



学生会は、4月21日の14時から22日14時まで教務支庁において「高校生の集いまなびば」を開催。高校生15名、大学・専門学生14名の計29名が参加しました。

今回の『まなびば』は、学生会の新たな会員である新高校1年生を中心として『火水風の御守護』についての理解をお互いに深め合い、日頃戴く御恩を感じて貰えるようにプログラムを進めさせて頂きました。2日間に亘るプログラムでは、それぞれの班に分かれてグループタイムを重ねることで、学生相互の繋がりが深まり、お道の教えを身近に感じて頂くことが出来た

と思います。当日は初夏の様な晴天の御守護を戴き、屋外でのプログラムも心地よく行えたことも有難く、また初参加者5名、未信者2名も班ごとの繋がりを通して、お道の仲間が出来たことと、親神様の教えに触れることが出来たことが、大きなお土産となったのではないかと感じました。

「おつとめの練習をしよう」
Ⅱ 釧根支部で少年会Ⅱ

支部内の少年会員がだんだんと成長し、本教の最も大切なおつとめについて、一層高度な練習を行っていく事ができるよう

にと、春休みを利用して4月1日10時より西幣舞分教会を会場に「おつとめ練習会」を開催した。

今回は、笛や小鼓、また女鳴物の個別練習と、基本的な打ち物練習を、それぞれ支部内の教会長や婦人会に講師をお願いし実施した。プログラムでは、リズムを通しておつとめの基本となる一手一つの心得を理解してもらおう時間を設け、その後講師よりおつとめについて子供たちにわかるよう説明がなされた。その後各教室に分かれ、午



と共に勉強した。

昼食は婦人会お手製のカレーライスを美味しくそうに頬張った。午後からは、午前中練習した「よろづよ八首」をお互いが合わせることを意識するように総合練習を行った。そして今日一日元気に練習させていたことへの感謝と、これから練習を怠らざう行っていく事の誓いを神様にさせていただく、お礼のおつとめまなびをつとめた。練習後には、参加した子供たちのお楽しみ行事として、大ピンゴ大会を行い大いに盛り上がり散会となった。

釧根支部として久しぶりの少年会行事であったが、少年会員は皆真剣に取り組んでくれ、また楽しそうな笑顔が見られたことが何より有難く、今後一層育成活動に取り組んでいく事を誓い合った。

或る物作りの名工が次のように云っていた。「毎日同じ物を作っているの皆さんはマンネリになっていっていると思ってしまうが、私は物を一つ作る度に、人様に喜んで使って頂きたい思いからいつも心を新たに励んでいます。だから毎日新鮮な心で勇んで仕事をさせて頂き有難く思っております。」

私はこの名工の言葉を聞いて、これこそ天理に適用心のあり方だと納得させて頂いた。人生も、信仰も、仕事も、スポーツも同じ事のくり返しを重ねるが、心新たな人と心がマンネリ化した人とは天地の差が生じる。心が新たな人には勇み心とよい結果が必ず生まれる。

私は立場の上から有難い事に親神様のお鎮まり下さる「おちば」へ毎月帰らせて頂いている。本当にもつたいない事である。おちば滞在中は、毎日朝づとめから参拝させて頂き同じ行動をくり返している。

私はおちばでのくり返しの中で、元気で生かされている事に心から感謝すると共に、本当に日々の勤め方の足りないことを詫び、これからの道のために心

を新たにさせて頂いている。私の心は充足し、新たな気持ちになつて勇み心が湧いてくるのである。

この道の教えは生き方の教えである。およそ信仰を続けて勇

教理随想 (二十三)

心を新たに

木岡 昭

形に慣れてくるとマンネリ化して飽きてきたり、自分に都合のよい御利益もないからと心の勇みが消えてしまう人もある。この世界でもそうだが、特に自分の都合に合わないと言う人程、自己中心的な考えの人が多いのかも知れない。

やはり人生も信仰も一番大切な事は、何に対処しても常に心が新たになければ生甲斐も勇んだ生活も出来ない事をよく知るべきである。

新たな心を創るには心の成長が不可欠である。それは自分とか自分の家に閉じこもる心の信仰ではなく、人様にも喜べる心を与えていく姿勢が必要である。自分の都合だけの信仰は必ずくたがれて喜び心はさえていくだろう。

み心が消えうせるのは神の思召しに合う信仰ではない。この道の信仰は、何らかのおたすけを頂いたり、感動したりして入信があるのだが、月日が経つて同じ事のくり返しの中で

「人をたすけて我身たすかる」とは、この道の信仰の王道である。それは間接的には「つくし、はこび、ひのきしん」と教えられ、直接的には「にをいがけ、おたすけ」と教えられている。しかし「にをいがけ、おたすけ」の心は成果がなくてもならなくても、やはり信仰の必須となるだろう。

…ブロック別母親講座 開催のお知らせ…

ブロック	開催日時	会場	講師	立場
A	8月29日13時～	北斗市総合文化センターかなでーる	廣岡やよい先生	美唄分教会長夫人
B	5月31日13時～	教務支庁	廣岡やよい先生	美唄分教会長夫人
C	5月20日10時半～	新十津川分教会	阪口由美子先生	泉明分教会長夫人
D	5月30日11時～	幕別町百年記念ホール	山中麻恵先生	大典分教会長夫人
E	8月19日未定	未定	未定	

※一人でも多くの方にお声をお掛け下さい。

第17回 ままっぶの集い

「ままっぶの集い」では、仲間とのふれあいを通じて「私と同じように悩んでいる人がいる。でも前向きに子育てを楽しんでいる。私も親神様、教祖に喜んで頂けるように頑張ろう」と勇まらせて頂く事ができるよう、いろいろなプランを考え毎年つとめています。大勢の皆様のご参加お待ちしております。

日時 6月16日(土) 午前10時
 場所 教務支庁
 参加費 無料
 申込み 支部婦人会を通してお申し込みください
 お問い合わせ
 担当 六華分教会 奥村 とう子

第2回 Missさくら会

☆日時 平成30年6月2日(土)13時30分開始
 ～3日(日)13時解散

☆場所 北海道教務支庁
 ☆内容 盛りだくさん

夜は焼肉パーティー

女子会(トーク)

着物着付け

琴・三味線・胡弓(心得と実技)

グループワーク

主任先生のおはなし

温泉(希望者)

☆持ち物 参加御供え 500円
 お琴の爪(ある人のみ)
 着物(おつとめ着一式、無くても可)

第27回 Yosakoi

ソーラン祭り

大募集!!

大通り会場ひのきしん者
 …お子様からご高齢の方まで…

インフォメーションセンターでは、英語など片言しかできなくとも、おもてなしの心で接すれば、大丈夫です。

日時・平成30年

6月9日(土)～10日(日)

一日でも、短時間でも、歓迎。

内容・ゴミ拾い、インフォメーションセンターでの案内、外国の方と応対しますが、英語などに堪能でなくとも、興味のある方で結構です。

集合場所(休憩所) ..

7丁目インフォメーションセンター横

お問い合わせ ..

教化育成部よここ担当

庄田道則 090-2077-1518

けいごばん

◎法律に関する諸問題(た)相談の方は弁護士を紹介しま

す。教務支庁内の書記(渡部)

ま(た)連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後

6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催して

います。(二布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式

をおこなっております。

計報

・山本保子様 2月21日出直 (90歳)

北湖湧分教会会長 (紋別支部)

・山崎哲子様 3月2日出直 (96歳)

京館分教会会長 (函館支部)

・福井トヨ様 3月12日出直 (89歳)

富原分教会前会長夫人(富良野支部)

北海道教務支庁日誌抄

(3月19日～4月19日)

3月25日 学生会 春の学生

おちば帰り出発

26日 本部分次祭遙拝式

27日 教区長会議

28日 図書修理会

4月1日 たすけ推進会議

2日 支部長会議

福祉担当者会議

4日 任命願書発送

9日 災救隊スタッフ会議

10日 事情願書発送

15日 しらゆき会例会

18日 教祖御誕生祭遙拝式

19日 教区報編集会議